

# 梅北だより

## 後期学校評価特別号



平成30年3月16日発行  
京都市立 梅津北小学校  
校長 塩貝 美鈴

### 平成29年度後期学校評価結果のお知らせ

保護者の皆様には、お忙しい中「学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございます。結果がまとまりましたのでご報告いたします。

梅津北小学校が学校教育目標の実現に向けて、特に大事にしたいことに絞ってアンケートをとり、保護者の皆様からのご意見・児童（低学年、高学年）へのアンケート結果・教職員の自校評価を前期のアンケート結果と比較し、継続すべきところ、改善すべきところを明らかにして、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。

#### アンケートの方法

アンケートの項目を、【◆確かな学力】【◆豊かな心・健やかな体】【◆学校・家庭・地域の連携】のグループに分け、それぞれの項目について「重要度－実現度」を尋ねる形式にしました。この二つを相互に関連させたとき、重要度・実現度がともに高い項目は比較的肯定的なご意見が多く、重要度が高く実現度が低い項目は本校の課題とみることができます。

アンケート結果より ～全項目は掲載できませんので、ご了承ください。～

（「よくできている」「大体できている」を合わせて「実現度」を表記しています。）

#### 【◆確かな学力】

子どもに、学年×10分の 家庭学習の習慣が身に付いていること （児童：毎日決まった時間に、 家庭学習をすること）		前期	後期
	保護者	59.3%	59.6%↑
	低学年児童	79.7%	79.5%↓
	高学年児童	62.1%	71.3%↑
	教職員	53.8%	71.4%↑

前期に比べて高学年児童に実現度の割合が大幅に上昇しています。ご家庭でのお声かけやご支援ありがとうございました。ジョイントプログラムテストでも、1月に実施した結果が、9月に実施した結果を上回っていました。家庭学習が、学力の定着に効果的だということの表れです。低学年の児童については、新しい学年に向けての意識付けの中で、家庭学習についても意識させていきたいと思ひます。

また、「文を書く宿題（日記など）にも取り組んでほしい。」（自由記述欄より）というご意見もいただいています。記述する力は、本校児童の苦手な力でもあります。授業改善や宿題の内容等につなげていきたいと思ひます。



子どもに読書をする習慣が 身に付いていること (児童：時間を見つけ、進んで本を読むこと)		前期	後期
	保護者	50.3%	41.0%↓
	低学年児童	80.2%	80.8%↑
	高学年児童	67.8%	66.3%↓
	教職員	53.8%	57.2%↑

前期と同じように、後期でも児童と保護者の割合に大きな差が生じました。学校のようにご家庭で時間を決めて読書をするということは、毎日の生活を送る中で簡単なことではないと思います。ゲームやテレビの時間を10分でも減らして、その時間を読書にあてるなどの工夫ができるといいですね。学校でも、学校司書教諭による魅力的な本の紹介や、読書ノートの活用等、家庭でも読書に親しめるように取り組んでいきたいと思います。



授業中、しっかり話が聞けること		前期	後期
	低学年児童	85.8%	85.5%↓
	高学年児童	90.2%	92.2%↑

授業中、しっかり発表すること		前期	後期
	低学年児童	72.0%	70.0%↓
	高学年児童	63.8%	64.5%↑

「ディスカッションなどのコミュニケーション能力を身に付けてほしい。」(自由記述欄より)というご意見をいただきました。このご意見に関わるアンケート2項目は、児童のみの設問でした。どちらも高学年の児童の割合が、前期から上昇しています。低学年児童についても決して低い割合ではありません。しかし、自分の考えと比べて友だちの意見を聞くことや、分かりやすく自分の考えを発表することについては、まだまだ力をつけていかななくてはならないと、校内研修等でも話し合っています。今ある力を伸ばしていきたいと思います。



#### 【◆豊かな心・健やかな体】

子どもが「おはよう」などのあいさつや 「ありがとう」と進んで言えること		前期	後期
	保護者	76.6%	60.8%↓
	低学年児童	91.8%	91.9%↑
	高学年児童	90.8%	94.7%↑
	教職員	53.8%	57.1%↑

子どもが履き物を自分でそろえること (児童：トイレのスリッパやぬいだくつを そろえること)		前期	後期
	保護者	53.9%	49.1%↓
	低学年児童	86.3%	89.0%↑
	高学年児童	87.9%	92.1%↑
	教職員	61.5%	57.1%↓

子どもが早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣を身に付けていること (児童：早寝・早起きなど、決められた生活をする)		前期	後期
	保護者	74.5%	74.5%
	低学年児童	71.5%	80.3%↑
	高学年児童	74.8%	86.3%↑
	教職員	57.6%	66.7%↑

「あいさつ・そうじ・スリッパ・右側を歩く」は、規範意識を育てるための全校の目標です。高学年児童を中心に、実現度の割合は前期より上昇しました。教職員もその変化を実感しています。梅津中学校生徒会のメンバーが月1回ですが、本校の運営委員会の5・6年生と一緒に、朝のあいさつ運動をしています。よいモデルとなる先輩などの姿から、意識を変えた児童もいると思います。**「朝の登校中のあいさつが出来ている子が少ない。」「最近の子は、あいさつが出来ない子が大半です。残念です。」**(自由記述欄より)といったご意見もあります。学校の中だけでなく、地域の方や見守ってくださっている方に出会ったときには、いつでも誰にでもあいさつ出来るよう、指導していきたいと思います。

履き物をそろえることに関しては、前期と同様に、児童と保護者・教職員の割合に差がありました。こちらも学校だけでなく、いつでもどこでも履き物をそろえるよう、意識付けていきたいと思います。

生活習慣に関わっては、全体としてよい傾向であることが、結果からうかがえます。各ご家庭でのご協力ご支援していただいているおかげです。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。

学校が一人一人を大切にしたい取組を行っていること		前期	後期
	保護者	88.6%	82.2%↓
	教職員	80.7%	90.5%↑

1年間通じて80%以上の高い割合となりました。**「子どもたちのそれぞれの個性を大切にしながら、真剣に情熱的に日々向きあって頂いているおかげで、最後までやろうという意識がはっきりしてきたと思います。それぞれの成長過程で、それぞれの課題に向き合えるようにして頂いて、常々ありがたいと心から感謝しております。」**「学習面・生活面において子どもの様子をよくみてくださっていると感じています。」(自由記述欄より)というご意見もいただきました。今後とも、梅津北小学校児童のより良い成長に向け、保護者の方と連携しながら取り組みを進めていきたいと思っています。



#### 【◆学校・家庭・地域との連携】

子どもが地域行事やPTA行事に参加すること (児童：PTA行事や地域の行事に進んで参加すること)		前期	後期
	保護者	68.1%	62.5%↓
	低学年児童	63.4%	72.9%↑
	高学年児童	55.2%	68.2%↑
	教職員	53.8%	66.6%↑

保護者が学校行事（参観・懇談など）に参加すること		前期	後期
	保護者	82.9%	76.2%↓
	教職員	76.9%	76.2%↓

「もっと子どもに関わっていきたいのですが、普段忙しく、つい後回しにしてしまいがちなので、来年こそは子どもとの時間を大切に、学校行事にも参加していこうと思っています。」（自由記述欄より）同じようにお考えのご家庭も多いと思います。たくさんの保護者の方に参加していただけるよう、参観の曜日や開催回数も検討していきたいと思います。学校行事についても、子どもたちのより良い成長を第1に考え、学校教育活動全体を通して内容や実施方法等、熟考していきたいと思います。

地域行事やPTA行事に参加する児童の割合は前期に比べると上昇しました。地域の方、PTAの役員の方々には、お忙しい中子どもたちのことを考えお取り組みいただいています。PTA活動については、「必要性を感じない」「軽減すべき」「時代にそぐわない」「親も働いているので大変」などのご意見もいただいています。学校行事同様に、子どもたちの成長や楽しんで参加する姿を大切に頂きながら、取組等を学校も共に考えていけたらと思います。



#### 【学校運営協議会でのご意見】

- ・英語活動、外国語活動が導入されるが、目標や指導者の研修などはどのようなになっているのか。昔は「読み」「書き」が中心で、会話することは難しかった。また、「外国語」とあるが英語以外の言語も扱うのか。  
→外国語活動を中心になって進めるリーダー教員がおり、その教員を中心に校内研修や他校の授業を参観するなどして、指導力を高めている。活動内容は、5・6年で「書く」活動も含まれるが、「話す」「聞く」ことを大切にし、グローバル社会の中で物おじせず意思表示できるような力を付けていきたい。あいさつや服装などで、英語圏以外の言語や文化に触れるが、主な言語は英語である。
- ・来年度より3学期制になるが、夏休みの日数や土曜の授業も以前のように戻るのか。  
→これまでの2学期制の良さを生かした3学期制となる。夏休み・冬休み前に通知票は渡すが、サマースクールの実施や休みの課題などの工夫で、学習は途切れず継続して行えるようにする。土曜日の授業は行わない。また、授業日数もこれまで通り205日行う。各学期の始業・終業の日程は全市小学校でそろえるようになる。
- ・土曜学習や放課後まなびなど、課外の活動の様子はどのようなものか。  
→土曜学習は月1回、希望（申込）制で参加している。学習の方は20名前後の参加。学習内容は、補習や検定（漢字・算数）に向けた勉強など、意欲的に取り組んでいる。放課後まなびは週3回（月・火・金）実施。主として宿題をし、終われば折り紙などして過ごしている。

※「→」は学校としての意見です。

その他、部活動についてや参観・懇談会について、図工展の名札の工夫などのご意見も頂きました。ありがとうございました。新学習指導要領完全実施の平成32年度に向けて、来年度より変わることが多くありますが、よろしくお願いします。